

2006NAHBインターナショナル・ビルダーズショー視察報告

NAHB（全米ホームビルダー協会）が主催する、建築工業製品、及び最新のテクノロジーに関する世界最大規模の国際見本市。今年は昨年引き続き米国フロリダ州オーランド市、オレンジカウンティ・コンベンションセンターにて、出展企業1600社、総入場者数約100,000の規模で開催されました。



1) 「The New American Home」でアイシネン採用

このNAHBショーでの注目は何と云っても「The New American Home 2006」であります。この住宅はNAHBがその年も最も注目されるテーマのもとに建設し、NAHBショー参加者に公開しています。米国の最新の住宅技術とデザインを学ぶには最高の場所といえます。アイシネンは今年もこの最新鋭住宅の気密・断熱材として採用されました。

このモデルハウスはNAHBの公式展示ハウスでもあり、新しいコンセプト、新しい材料、新しいデザイン、新しい技術を採用していますが、それらはすぐに使用可能のものです。つまり住宅の価格レベルに合わせて、地域がどこであろうと全部または一部が採用できるものを備えています。

このTNAH2006—モデルハウスは、コンベンションセンターからシャトルで20分くらいの湖畔に位置し、このエリアで今後、数年で多くの戸建住宅が建設され、新たな街並みが形成されることが予想されます。

もともと、オーランドは湿地帯ということで、多くの湖沼が点在していましたが、開発に併せて人工的な湖も作り、よりすばらしいロケーションを演出しているとの事でした。

実際に住宅の中にはいってみましたが、玄関、ゲストルーム、主寝室、従寝室、リビング、ダイニング、書斎、シアター室、バス、ランドリールーム、いずれもハイグレードで、各部屋ごとに説明員が張り付いていました。

とにかく、豪華さに目が奪われがちですが、同時にこの住宅の省エネ効果、室内空気環境、地球環境への負荷の低減にも触れています。特に省エネ効率は40%をうたっています。

これを実現させているのが、建物外皮をすっぽり被ったアイシネンです。

アイシネンはシアター室、奥の天井の一角に、アクリル板で囲われているものの、現場で施工した様子が鮮明に判るように公開されていました。またガレージ上に吹き付けてあるのは、開口部がオープンになっており、簡単に確認することができます。この住宅の気密・断熱がアイシネンにより成り立っている事を雄弁に語っています。



2) アイシネンは現場発泡の代名詞

更に、コンベンション横に併設された、モデル現場展示場では、「NEXT/GEN」「第一次取得者ハウス」の2つでアイシネンが採用されています。

ここでも、壁がやはり、アクリル板にて囲われて公開されており、アイシネン社の係り員が張り付きで、現場訪問者に対して説明を繰り返していました。

デモラック社も含めて、現場発泡のブースが5つ程ありましたが、TNAH2006他、モデルハウスに採用されたのはアイシネンのみです。

これが全てを語っています。

すでに、北米ではアイシネンが現場発泡の代名詞なのです。

他社では、TMを会場に持ち込んでいるところが多かったものの、実演しているところは見つける事ができませんでした。一様にデモブースに吹きつけ済み2×4スタッドを持ち込み展示していました。

触ってみる限り、50倍発泡の硬質がほとんどで、軟質系のものはほとんど見かけませんでしたが、エアータイト社に至ってはデモブース内の展示物がすでに大きなクラックを生じており、まさに現実をみる思いでした。



3) アイシネンはエアータイトで省エネ効果を更に促進

今回の主要テーマの一つはグリーンビルディングと明言しています。地球環境に優しい材料を出来るだけ多く使用することがコンセプトです。様々のエコ材料や空調、エアコン、雨水の有効利用など合理的なシステムが採用されている中にアイシネンも仲間入しています。

出来るだけ、無駄な電力を使わずに、健康、快適な室内環境を整え、かつ地球環境に優しいことが米国人にとっての重要な関心事なのです。

このような中、「原油先物 66 ドル/バレルに高騰」という記事が紙面をトップを飾り、人々の不安をかきたてています。日本でもこの冬は厳冬であり、灯油の消費量の大幅なアップが家計を直撃しています。

もはや光熱費の増大に誰も無関心ではいられないのです。出来るだけエネルギーを浪費しない住宅、かつ健康、快適な室内空気環境を実現するのはアイシネンなのです。

2006年1月23日

キングラン・ハウネスト株式会社

安藤 正純